



# 茜の空

令和6年度 第1号

発行日 4月10日(水)

練馬区立石神井南中学校

校長 木原 賢三

令和6年度を迎えるにあたり

校長 木原 賢三

正門の桜も花開き、春の息吹を感じる季節、1111名の新1年生を迎え、全校354名の生徒とともに令和6年度がスタートしました。緊張の中、新しい学校生活への期待と希望にあふれ、まっすぐなまなざしを向ける新1年生、そして、誇れる上級生と一歩を踏み出した2、3年生。新しい学年で夢や目標に向かってスタートした生徒たちが、「自分らしさとは何か」「自分とはどのような人間なのか」自分探しに取り組み、自分の生き方を自己決定できるよう、新たな気持ちで教職員一同、力を合わせて地域の宝である子どもたちの育成に努めてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

「学道不二」。本校の校長室に掲げられている言葉であり、「学問を学ぶことと、人として人格を完成させようとすることは同一である。」という意味です。教育の目的は「人格の完成」であり、そのためには、「学力」を伸ばさせることも「豊かな人間性」を育むことも、共に重要であるということです。学校教育では、授業を通して「学ぶ力」を身に付け、自ら考え、課題に粘り強く取り組むことができるようにするとともに、学校行事や部活動などを通して「豊かな人間性」を身に付け、自己理解を深め、他者を思いやり、尊重し合う態度を育てていきます。子どもたちが人格を磨いて、人として成長していくことができることを目指します。

生徒たちにとって中学校生活3年間は、それぞれの生き方の基礎を築く貴重な時期となります。授業だけでなく、部活動、生徒会活動等を通して、学友とともに学びあい、励ましあい、支えあってそれぞれの目標に向かって精一杯チャレンジし、心身ともに大きな成長ができるよう支えていきます。

さて、保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。生徒たちは新しい春の訪れとともに、新たに新しい学年への期待感、引き締まった緊張感がみなぎっているように思えます。生徒の皆さんが「石神井南中学校プライド」をもち、自信と誇りをもって中学校生活をおくることができるよう、積み上げてきた本校の素晴らしい教育活動を継承するとともに、全力を尽くして更なる教育の推進を目指してまいります。

## 《 教育目標 》

〈多様性の時代に、主体性と寛容性を併せもち、他者と力を合わせてより良い社会を創る人〉

(1) 自分と他者を共に認める人 (2) 自ら学び、社会で生かせる人 (3) 自他の健康を考え、実践する人

教育目標の達成を目指し、生徒たちにとって、そして学校にとって大きな成果が上がるように様々な教育活動を実践して参ります。その中で、生徒一人ひとりの自己有用感を高めることにより、個々の自立と社会の一員としての自覚を深めさせていきます。また、生徒には「思いやりの心」をもち、「自らすすんで学ぶ姿勢」と「自立する姿勢」を育ててまいります。価値観の多様化や多様性がすすむ変化の激しい社会の中で、他者の気持ちになって気遣いができ、他者の意見や考えを尊重し、寄り添える人、自らすすんで考え、行動し、地域社会において活躍できる自立した人に成長してほしいという願いからです。主役である生徒たちが石神井南中生でよかったと実感できるよう、より一層保護者・地域の皆様から信頼される学校にしてまいります。生徒たちの健やかな成長は、家庭と地域と学校が一体となって見守っていき、それぞれが責任を果たし、互いが協力・連携を図りながら育むことで実現できると思います。本年度も保護者の皆さまのご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。